

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止や大雪など悪天候のため、臨時運休する場合があります。

運行状況の確認は市立図書館ホームページをご覧ください。どうか、お問い合わせください(たちばな号で貸し出した図書は返却期間は、次回巡回日まで延長します)。

彦根市立図書館 ☎ 22-0649 FAX 26-0300

| | | |
|--------|-------------------|-------|
| 2日(火) | 宮田町山田神社 | 11:00 |
| | JA東びわこ鳥居本支店駐車場 | 13:20 |
| | 鳥居本高根団地 | 14:10 |
| | 小野こまち会館 | 15:00 |
| 3日(水) | 太平団地 | 13:20 |
| | 市民交流センター | 14:10 |
| | 湖上平団地堤医院前 | 15:00 |
| 4日(木) | 葛籠町公民館 | 13:30 |
| | 高宮地域文化センター | 14:20 |
| | BSアパート2号棟 | 15:10 |
| 5日(金) | 清崎町ばんば | 13:30 |
| | JA東びわこ本店前駐車場 | 14:10 |
| | 河瀬地区公民館 | 15:00 |
| 6日(土) | 多景保育園 | 13:20 |
| | 長曾根町・エクセレントヒルズ彦根 | 14:10 |
| | 彦根ニュータウン中央部 | 15:00 |
| 9日(火) | 楡町公民館 | 13:30 |
| | 亀山出張所 | 14:20 |
| | 人権・福祉交流会館 | 15:10 |
| 10日(水) | 鳥居本地区公民館 | 11:00 |
| | 小泉町百貨卸センター駐車場(東側) | 13:20 |
| | 東沼波町秋葉神社 | 14:10 |
| | 旭森地区公民館 | 15:00 |
| 12日(金) | JA東びわこ種子センター | 13:20 |
| | 滋賀観光バス彦根営業所 | 14:10 |
| | ローソン彦根外町店駐車場 | 15:00 |
| 13日(土) | 清崎町浄宗寺 | 13:30 |
| | 亀山ニュータウン | 14:20 |
| | 日夏ニュータウン第2期集会所前 | 15:10 |
| 16日(火) | 開出今菅原神社 | 13:20 |
| | 蔵の町団地中央 | 14:10 |
| | 滋賀県営開出今団地集会所前 | 15:00 |
| 17日(水) | 平田町大沢高岸B公園 | 11:00 |
| | 西今町松田団地 | 13:20 |
| | 西今町伊庭団地 | 14:10 |
| | 若葉小学校東門 | 15:00 |
| 18日(木) | 稲里町公民館 | 13:30 |
| | みずほ文化センター前駐車場 | 14:20 |
| | 稲枝駅前 | 15:10 |
| 19日(金) | 千鳥ヶ丘会館 | 13:15 |
| | 小泉町公民館 | 14:00 |
| | 平田町明照寺前 | 14:50 |
| 20日(土) | 大藪町農業倉庫 | 13:20 |
| | 後三条会館 | 14:10 |
| | 中藪一丁目白山神社 | 15:00 |
| 24日(水) | 新海町公民館 | 13:30 |
| | 新田附町公民館 | 14:20 |
| | 本庄町公民館 | 15:10 |
| 26日(金) | 普光寺町(東ノ辻広場) | 11:00 |
| | 彦富町公民館 | 13:10 |
| | 金沢町公民館 | 14:00 |
| | 港屋駐車場東 | 14:50 |

図書館休館日 1日(月)～9日(火)、11日(木・祝)、15日(月)、22日(月)、23日(火・祝)、25日(木)(2月)

彦根市事業公社 ☎ 23-4135 FAX 23-4134

| | |
|--------|---|
| 1日(月) | 野田山、三津、本町一丁目、本町二丁目、本町三丁目、銀座、中央(第1・4部)、芹橋一丁目、芹橋二丁目(河原二丁目一部を含む)、西今(松田団地)、松原一丁目、松原二丁目、松原(四ツ川) 平田(大沢) |
| 2日(火) | 野田山、海瀬、幸、三津屋、野瀬、西今、西今(伊庭団地)、須越 |
| 3日(水) | 里根、外、野田山、八坂、須越、西今、八坂東団地、正法寺 |
| 4日(木) | 地藏、正法寺、小泉(開出)、山之脇、宇尾、竹ヶ鼻、開出今(蔵の町団地)、八坂東団地、里根、外、芹川(北)、開出今 |
| 5日(金) | 地藏、地藏(湖上平団地)、原(原西団地)、後三条(上)、開出今、甘呂、岡、東沼波(サニー団地)、橋向、芹川 |
| 8日(月) | 大橋、元岡、芹、安清、芹中、沼波、正法寺(太平団地)、西沼波(東部)、甘呂、清崎(東・西・清崎団地)、八坂北、地藏 |
| 9日(火) | 城町一丁目、城町二丁目、栄町一丁目、栄町二丁目、池州、正法寺(太平団地)、馬場一丁目、馬場二丁目、長曾根、八坂北、開出今(1部)、日夏 |
| 10日(水) | 小泉、中藪、戸賀、大藪、日夏、賀田山(大山・小山・茂賀・小田部) |
| 12日(金) | 小泉、平田(南)、中藪、日夏、金沢(林中下・長江)、田原、金田、石寺(上下)、上岡部、下岡部、出路 |
| 15日(月) | 田附、東沼波、稲枝(西・東)、服部、金沢(金沢団地)、彦富、肥田、稲部(南)、野良田、金亀、元、船、旭、佐和 |
| 16日(火) | 上稲葉、下稲葉、本庄、普光寺、薩摩、稲部、金沢(金沢団地)、肥田(西肥田)、鳥居本地区、彦富 |
| 17日(水) | 新海、南三ツ谷、甲崎、東沼波、西沼波、鳥居本地区、古沢(佐和山東・佐和山西)、上西川、下西川、彦富、大東、京町一丁目、京町二丁目、京町三丁目、錦(第1部)、中央(第2・3部)、新、立花 |
| 18日(木) | 柳川、稲部、稲里、平田(北・中・西)、長曾根南、後三条(下)、東沼波、西沼波(本郷住宅)、大堀、鳥居本地区、太堂、千尋、肥田(西肥田を除く)、古沢(東山・松縄手・沢・三ノ丸)、駅東 |
| 19日(金) | 錦(第2・3部)、河原一丁目、河原二丁目、河原三丁目、鳥居本地区、楡、安食中、西沼波(出屋敷)、東沼波 |
| 22日(月) | 錦(第2・3部)、河原一丁目、河原二丁目、河原三丁目、大堀、極楽寺、辻堂、南川瀬、川瀬馬場 |
| 24日(水) | 高宮、蓮台寺、堀、森堂、南川瀬、川瀬馬場 |
| 25日(木) | 高宮、広野、金剛寺 |
| 26日(金) | 高宮、広野、犬方、出、葛籠、法士 |

..... < 広告欄 >

テーマ展

1月1日(金・祝)～2月2日(火)
「子どもをめぐる美術－祈りから遊びまで－」
節句の人形や唐子(からこ)を描く絵画、遊び道具まで、子どもをめぐる営みとそれに関わる多様な作品を紹介します。

2月5日(金)～3月8日(月)
「雛と雛道具」
井伊家13代直弼の愛娘弥千代(1846～1927)の雛と大揃いの雛道具を、地元の旧家に伝来した古今雛(こきんびな)や御殿飾りなどとともに一挙公開。春の訪れを告げる恒例の展示です。

▲弥千代の雛道具 (屏風・小袖・袷箱・三揃)
■展示解説 2月6日(土) 14:00～14:40
解説:当館学芸員 場所:講堂
当日受付(先着35人) ※無料(観覧料は別途必要)

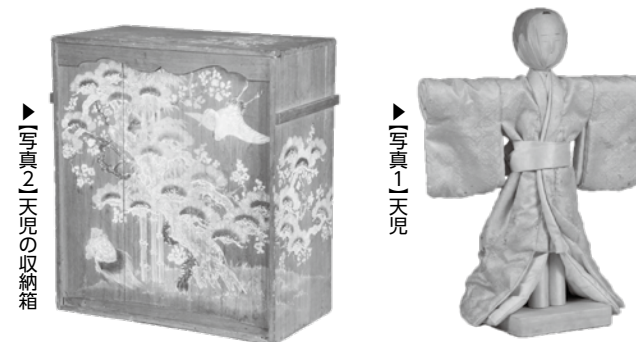
「井伊家近代文書調査の現場から」

井伊家近代文書調査報告書刊行に先立ち、調査の概要や成果の一部を紹介します。

第1講「井伊家近代文書の『発見』」講師:渡辺恒一
【日時】2月20日(土) 14:00～15:30

第2講「近代井伊家をとりまく人々」講師:早川駿治
【日時】3月6日(土) 14:00～15:30

【場所】大学サテライト・プラザ彦根(大東町)
【定員】50人(応募者多数の場合抽選)
【費用】200円(資料代) ※申し込みは2講分です。
【申込方法】往復はがき往信の裏面に①住所②氏名③電話番号を、復信の宛名面に①住所②氏名を書いて郵送(〒522-0061金亀町1-1)、または彦根城博物館ホームページ
【申込期限】1月22日(金)(当日消印有効)



天児(写真1)は、出産に先だって、新たに生まれる子どもに降りかかる災いを除くために作られた人形です。丸棒2本をあわせた縦木の上にT字型に横木を組んで胴と手を作り、白布で包んだ頭をつけたもので、綿入りの着物を着せる例が多くあります。子どもが幼い頃には、新しい着物はまず天児に着せ、災いを人形

今も昔も、子どもの健やかな成長は、親をはじめ子どもに関わる人の切なる願いです。現在のよう

に医療が発達しておらず、幼くして亡くなる子どもが少なくなかった江戸時代以前においては、その願いは一層切実なものでした。それゆえ、節目ごとに子どもの無事を祈る行事が行われてきました。このうち最も代表的なものが、今も盛んに行われている3月3日の雛祭りと5月5日の端午の節句です。加えて、その祈りを込めたさまざまな道具も作られました。

写真の作品は、「テーマ展「子どもをめぐる美術－祈りから遊びまで－」で1月1日(金・祝)～2月2日(火)の期間、展示します。

【彦根城博物館学芸員 茨木恵美】

に移してから子に着せたといえます。菱文様を表わす白い着物を着たこの天児は、井伊家13代当主である直弼の4女、真千代(1845～1904)の誕生の際に準備されました。この人形には、素地(白木)に白い顔料で松竹梅と鶴、亀を描いた収納箱(写真2)が付属しています。

この収納箱のように白木に白で、あるいは白地に白で文様を描いたものを白絵と呼びます。古来、日本には、白を清浄な色とする考えがあったとされており、出産の際には、産所は白絵の屏風をはじめとする白絵の調度で調えられました。そして江戸時代には、天児のほか、安産や魔除けを願って作られた犬笛などの出産に関する道具の収納箱にも、白絵が表わされるようになりました。これら白絵の収納箱は、新たな命に関わる道具を包み、守る役割を持っていたとも指摘されています。新たに生まれる子どもの災いを退ける天児と、それに対する切なる願い、そして愛情が込められているといえるでしょう。

健やかな成長への願い — 天児と白絵の収納箱 —

とまの玉手箱

博物館からのメッセージ

第292回